



令和8年9月1日 <9月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



「2学期のスタートにあたって」

校長 池島 隆久

がんばるための工夫 — 言葉と動作の力

長い夏休みを終え、2学期が始まります。学校生活への期待を胸に始業式を迎えた人もいれば、まだ心や体が休みのリズムから抜け出せない人もいるでしょう。焦らず、少しずつ学校生活のリズムを取り戻してください。そのために大切なのが、「まず動いてみる」ということです。朝、「おはようございます」と声を出す。友達に声を掛ける。授業が始まったら教科書を開く。こうした小さな行動が、気持ちを前向きにしてくれます。「やる気が出るのを待つ」のではなく、「まず動くこと」で、自分の気持ちを動かしていきましょう。

一方で、「ちょっとしんどい」「今、困っている」と言葉にすることも、自分を大切にすること、大切な行動です。遠慮せず、先生や家族、友達に相談してください。

「自治」で学校をつくる — 自分から考え、動く

今年度、津幡中学校が大切にしているキーワードは「自治」です。「自治」とは、「自分たちのことを、自分たちで考え、自分たちで動かすこと」です。

1学期末の「自治」に関するアンケートでは、「授業中の私語を減らしたい」「安心できる人間関係をつくりたい・仲間外れをなくしたい」「挨拶をもっとよくしたい」といった意見が多くありました。また、「自分から挨拶する」「困っている人に声を掛ける」「気付いたことをそのままにしない」など、自分から行動したいという声もありました。

津幡中学校には、「自治」の土台がすでにできているのだと思います。



運動会から始まる「自治」 — 仲間と考え、動く

9月の運動会は、自治を実践する大きな機会です。「どうすればみんなが動きやすいか」「どうすれば一人一人が活躍できるか」を考え、自分の役割を見つけてください。3年生は下級生を引っ張り、1・2年生もそれぞれの立場で力を発揮する。応援、準備、記録、声掛け、意見をまとめるなど、一人一人に果たす役割があります。もちろん、意見が合わないこともあるでしょう。そんなときは、相手の話を聞き、自分の考えを伝え、「どうすれば、みんなにとってよりよいものになるか」を考える。それが「多様な他者と協働する力」です。そして、終わった後には振り返り、次に生かしてください。

一人一人の一步が、学校を変える

2学期は、みなさん自身が津幡中学校をつくっていく学期です。まず自分の生活を整え、自分にできることを見つける。そして、仲間と考え、話し合い、一緒に動く。さらに、「こんな学校にしたい」「ここをもっとよくしたい」という思いがあれば、ぜひ先生や仲間に伝えてください。大切なのは、自分たちにできることを考え、実際に行動することです。

9月の運動会で、みなさんがどんな姿を見せてくれるのか。そして、みなさんの力で、どんな津幡中学校をつくっていくのか。大いに期待しています。

2学期のスタート — 意識してほしい3つのこと

- 「がんばるための工夫」—言葉や動作の力
- 苦しいときには「しんどい」と言える勇気を持つ
- 2学期は「自治」を進めて、生徒のみんなで学校をつくる

